

17thエイジシューター 塩ジイが『ザ・ルーツ Karyou』を斬る

京美人の『Karyou』で思い出す弾道と打音を楽しむ

御年82歳にして、エイジシュート17回。日本ゴルフジャーナリスト協会の顧問で現役のゴルフ記者。クラブだけではなく、スイングにも造詣が深く、シニアゴルファーの悩みを知り尽くしている塩田正氏。通称、塩ジイが『ザ・ルーツ・Karyou』を斬った。

The Roots Karyou

3月下旬、三重県鈴鹿G.Cで開催されたLDA世界ドラゴン選手権三重大会スーパーシニアの部で優勝した奥田勝義選手が手にしていたのが『ザ・ルーツ Karyou ドライバー』。その飛距離315ヤード。その飛距離性能が噂となっているルーツゴルフの最新作『ザ・ルーツ Karyou』シリーズ。その実力は如何に……。

パーシモンを彷彿させる美しい形状

『ザ・ルーツ Karyou ドライバー』

塩田氏は開口一番、「いい顔していますね。京美人のような瓜実(うりざね)顔で、上品な顔つき。クラシックでありながら、洗練されたふっくらとした顔ですね——。

と、パーシモンを彷彿させ、キャリアの長いゴルフファーの好みに合致していると太鼓判を押した。

「打った瞬間に、しっかりとインパクトでボールが潰れる感触が伝わります。この重くボールが潰れていく音が、シニアゴルフファーが過去に体験したパーシ

モン時代のナイスショットを思い出させてくれるんだよね。シニアゴルフファーには、親しみのある音で、音というのは何十年も潜在意識の中に残って忘れられない。若い頃に使った忘れられないクラブを思い出させてくれる打音は、懐かしいだけではなく、プレーをする上で大きな安心感が繋がり、スイングも安定するんです。だから、200ヤード飛んだんですね。

それから、シャフトには3つのキックポイントがあるのですが、これがまた素晴らしい。手元側は切り返しで抑えてタメをつくり、中間部分でスイングのオンブレーションに載せてくれる。先端部分は最後にインパクトでボールをしっかり押し込み、ヘッドスピードが上がります。このシャフトは、ドライバーからウエッジまで似ているようで、すべてのクラブで効果を発揮していますね。

そしてもうひとつ。クラウンのデザイン(NEOマークドクラウン)が、テークバックをスムーズに導いてくれます。始動が安定しているので、ダウンスイングも安定する。安心して、

コースでゴルフを楽しむことができるドライバーですね」

ソールが滑ることは武器

『ザ・ルーツ Karyou FW/UT』

「シニアゴルフファーが苦手とするのがFWです。球が上がりづらく、上げようとするとそこからフェース下部にボールが当たり、トップしますね。でもこのFWはスイートエリアが広く、ボールを拾ってくれますね。シニアの大きな武器になりますよ。

もうひとつFWが苦手な理由があります。老いてくるとインナーマッスル(特に腸腰筋)が弱くなり、そうになると、身体が伸び上がり球をあげようとしません。ヒールやリーディング

塩田正(しおだ・ただし)

1932年11月7日生まれ。千葉県出身。血液型A型。身長160cm、体重69kg。東京教育大学(現筑波大学)時代に投擲選手。ゴルフ歴58年間。最初のエイジシュートは71歳で「70」をマーク。日本ゴルフジャーナリスト協会顧問。



グエッジやトゥなど、様々なところでボールをヒットしてミスに繋がります。でも、このFWならソールが滑りやすいので、無理に打ち込まないため、自然とミスを導くアドレスを抑制してくれますよ。

同じように、体力の落ちたシニアゴルフファーはダウンブローにボールを打てなくなり、UTの場合は、アイアン型のスイングをUTにも応用するインストラクターが多い



中、このUTはソールを滑らせるFWと同じスイングで打つことができます。少しだけボールを左に置いて身体の軸を少しだけ右に傾けます。アップライトにバックスイングを上げずに、肩を回すことで、体重移動もスムーズにできる。それが、この『ザ・ルートツKaryou FW/UT』なら、シニアゴル

ファーに合った正しいスイングが可能になります。もちろん、シャフトの効果やクラウンのマークなどもスイングの安定に大変役に立っていますね」

シニアのミスを抑えてくれる『ザ・ルートツKaryou アイアン』

「我々シニアゴルファーは、トップエッジの薄いアイアンを好みます。昔ながらのゴルフファーが多いからかも知れませんが、その意味で『ザ・ルートツKaryou アイアン』は、シャープなトップエッジで顔が良い。そしてシリーズを通して特徴的なのがソール。アイアンにはアイアン用の抜けるソール形状

拾ってくれ、シヨートアイアンは、しっかりとスピニングが入る。スイートエリアも広く、シニアゴルファーを深く理解しているアイアンです」

柔らかく転がり、手打ちを抑制『ザ・ルートツKaryou パター』

で、いまではロンググアイアンといわれる6番アイアンでも綺麗にインパクトを迎えさせてくれます。

また、年老いてくると背筋が伸びたアドレスができない。猫背になると、バックスイングがアップライトになりすぎて、ヒールでボールを打ったり、一度ヒールがダブってフェースが加速して返って、トゥ側でボールを捉まえてしまうミスが多くなります。

それが、トゥ側やヒール側のソールを丸く削り落としているので、これらのミスを抑えてくれますね。

それに加え、シャフトの3つのキックポイントで、ロングアイアンはボールを

「アームレットのパターは初めて打ってみました。打感が柔らかくて音も良くて、ボールが柔らかく転がって、ボールの回転が良いですね。こういうパターは、手首だけのパッティングや打ち急ぎなどを抑えてくれます。肩を回すことで、しっかりとストロークできます。

あと、後ろの2つの角の部分。これによってテークバックがスムーズに行えます。これは、ドライバーからUTまでのクラウンのデザインと同じで、大変ありがたい。スムーズなテークバックは、スイングの大事な要素の一つ。シニアゴルファーには効果的な要素だと思えますよ」

インプレッションで塩田氏は、機能面にとどまらず、シニアゴルファーに効果的な要素は何か? を語ってくれた。加えて、シニアゴルファーをターゲットに据え、シニアゴルファーを研究し尽くした『ルートツゴルフ』のクラブに感心した様子。「ルートツゴルフ」のクラブがあれば、この素敵なゴルフ人生をもっともっと長く楽しめそうです!